

☆世界

見通し

エアバッグ、4.5億セットに拡大---2017年

英 Textiles Intelligence の Technical Textile Markets 誌によると、世界のエアバッグ市場は、2010年の2億5,800万セットから2017年には4億4,600万セットに拡大する見通しである。2017年においてもフロント・エアバッグ（運転席・助手席）が最大の市場であるが、サイドインパクト、カーテンエアバッグ、ニーエアバッグが急成長する見通しである。この結果、フロント・エアバッグの全体に占める割合は2010年の42.2%から2017年の37.9%に低下する。しかしながら、この間のフロント・エアバッグは55.2%増と増勢基調を維持する。

最も急速な増加が予想されるのはニーエアバッグ（膝用エアバッグ）の539%増であるものの、2017年でも3,300万セット、全体の7.4%を占めるにすぎない。

サイドインパクトエアバッグは74.7%増の1億2,800万セット、シェアは28.6%。カーテンエアバッグは65.2%増、シェアは26.1%になる見通しである。

地域別には、先進国の成熟市場においても、世界金融危機以降、自動車生産は回復する見通しであり、新たな規制や技術革新により、成長は継続する見通しである。米国では、米国運輸省道路交通安全局(NHTSA)が既に、サイドインパクト（側面衝突）に対する保護性能アップに取り組んでいる。こうした改善は、インフレーターブル・カーテンエアバッグのような新たな成長領域を開拓するものと期待されている。

一方、ブラジル、中国、インドといった新興国での成長シナリオは全く異なるものである。新車需要が急速に拡大しており、自動車生産も急増している。2017年の中型車の生産は、日欧米では2007年水準を下回るが、その他の地域は2倍以上に拡大することが見込まれる。こうした自動車需要の増加がエアバッグ市場に大きな影響を与える見通しである。

☆中国

合繊原料

恒申とDSM、CPL生産で合意

長楽恒申合繊科技（恒申）は、7月16日、オランダの化学メーカー大手のDSMと、カプロラクタム（CPL）工場建設で協力する旨の基本合意書に調印したことを発表した。今後、正式合意に向けて交渉を重ねるといふ。合意書によると、DSMが、CPLの生産技術、工程、設備の導入、管理などを提供し、恒申が完成後の工場を運営するもよう。CPL工場の

建設は、2期に分かれており、それぞれに設備能力は、第1期が年産40万ト、第2期が60万ト。第1期は2012年末までに着工、2015年に完成する計画である。

恒申はナイロン6の産業チェーンを拡充しており、ナイロンチップの設備能力を年産18万トから2014年には倍増の36万トに増設する計画である。

今回の合意書は、中国の化繊産業にとって以下の点で意義があるとされている。

- ① CPLの輸入依存度を低下させる。
- ② 優れた工程、品質のカプロラクタムを生産することで、ナイロンの生産効率と安定性が向上する。
- ③ 川下のチップの増設等によって、同社のナイロン産業チェーンが更に強固となる。

中国のCPL輸入 (1,000ト)

	2009	2010	2011
世界計	601	631	633
ロシア	116	123	141
EU27	176	138	119
日本	62	95	102
米国	70	75	64
メキシコ	37	50	59
ベラルーシ	44	48	55
ウクライナ	17	52	49

(出所) 中国貿易統計

☆米 国

炭素繊維

米政府、低コスト炭素繊維開発に支援

米国エネルギー省は、このほどDow Chemicalに対し低コスト炭素繊維の製造工程の開発費用として900万ドルを支援した。

このプロジェクトは、米国エネルギー省管轄のOak Ridge National Laboratory (ORNL) とFordの共同で実施される。プロジェクトの目的は炭素繊維の製造工程で従来使用されてきたポリアクロニトリル(PAN)に代わりポリオレフィンを使用することであり、これにより20%のコスト削減が可能となるという。低コスト炭素繊維は、自動車、風力発電用タービンを含め、その他の産業用途等、高い潜在需要を有している。尚、今年、FordとDow傘下のDow Automotive Systemsは大量生産自動車に炭素繊維複合材の使用を検討するため、共同調査を行うことを発表した(関連記事No.921 4月20日号)。

☆ロシア

衣料業界

衣類市場の伸張を予測

調査会社 PMR の最新レポートによると、2011 年のロシアの衣類・靴類・アクセサリ類（CFA：衣類-Clothing, フットウェア-Footwear, アクセサリ-Accessory）の市場は 1.9 兆ルーブル（650 億^{ドル}）に達し、今後 2014 年までに年平均 9.4% の成長が見込まれる。ロシアは人口 1 億 4300 万人の市場であり、中期の経済見通しでも 4% の成長が期待される依然として世界有数の魅力的な小売市場であり続けている。

2011 年のロシアの小売市場全体では前年比 16% 増の 19.1 兆ルーブル（6,510 億^{ドル}）であった。そのうち、CFA は、食料品に次ぐ 2 番目に大きな分野となっている。

PMR の見通しによれば、2012～2014 年において、CFA 分野は 2011 年の伸びに比べると鈍化するものの、他のヨーロッパ諸国と比較すると好調であり、9.4% の伸びが見込まれるという。主に子供服分野の需要に牽引され、中間価格帯の製品に伸びが見られる見通し。

ロシアの主力 CFA 企業の動向をみると、最大手でスポーツウェア企業の Sportsmaster（Sportsmaster と O'Stin ブランドを有する）は、2011 年の売上高は前年比 37% 増の 452 億ルーブル（15 億^{ドル}）であった。CFA 市場の第 2 位は Adidas であり、同社の 2011 年のロシアでの売上は 355 億ルーブル（12 億^{ドル}）である。同社はロシア国内で Adidas、Reebok、Rockport の 3 ブランドを展開している。第 3 位は、ロシアの財閥 CentrObuv であり、2011 年の売上は 278 億ルーブル（9.5 億^{ドル}）、前年比 25% 増となった。同社は 2011 年に 265 店舗を新規にオープンした。

尚、ロシアの主要 CFA 小売 16 社の売上は、全体の 12% を占め、2,230 億ルーブル（67 億^{ドル}）であった。前述の上位 3 社は市場の 2.5% を占めていることとなる。

尚、ロシアのファッション市場は、自国あるいは外資のチェーンが多数存在する多様な市場であるが、フットウェア分野は例外的にロシアの国内企業の独占市場となっている。

以上